

「小樽市公設水産地方卸売市場事業経営戦略(原案)」
 に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

- | | |
|----------------------|----|
| 1 意見等の提出者数 | 3人 |
| 2 意見等の件数 | 7件 |
| 3 上記2のうち計画等の案を修正した件数 | 2件 |
| 4 意見等の概要及び市の考え方 | |

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	パブリックコメント対象資料にページ番号が記載されていない。	資料にページ番号を記載いたします。
2	財政部などが指定した「事業経営戦略」様式に基づいた市内部の資料をそのままパブリックコメント資料として提示するのは市民に対してとても不親切と言わざるを得ない。	この「事業経営戦略」様式は総務省で定めた経営戦略策定・改定マニュアルの様式に基づいたものでありますので、御理解の程、よろしく申し上げます。 なお、令和12年度に全面改訂を行う際には、見直しの概要をわかりやすく整理した資料を作成、添付する考えです。
3	実質赤字である本事業を継続する意義が示されないとパブリックコメント資料としては不適切である。	「3. 経営の基本方針」で、本事業を継続する意義を記載しておりますので、御理解の程、よろしく申し上げます。 また、今回の計画期間内ではありませんが、将来に向け、市場の再整備も検討していく中で、収支改善を含む将来的展望を見定めることとし、今回の計画では、漁獲量が劇的に伸びる見込みはない中でも、支出の抑制を計りながら、一般会計からの繰入れを最小限に抑えていきたいと考えております。
4	使用料が条例で定められておりと記載されるが、これを値上げなど改訂する意思が小樽市にあるのかどうか示すべきである。	「6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項」に、「当市場施設を含めた「小樽市公共施設長寿命化計画」や、市場の再整備に向けた基本構想等の策定に併せて、施設規模等の見直しを図る。」としており、施設規模等のなかには使用料の検討の意図も含んでおりますので、御理解の程、よろしく申し上げます。
5	営業外収益のイその他は料金収入に続いて多い収益である。市民向けに、パブリックコメント資料として説明が必要である。	この様式は総務省で定めた経営戦略策定・改定マニュアルの様式に基づいたものであり、収益的収入の営業外収益における主項目である市場利用団体等の共益費負担金や、収益的支出の営業費用における主項目である市場の管理費は、「その他」に含めるように示されておりますので、御理解の程、よろしく申し上げます。 なお、令和12年度に全面改訂を行う際には、概要をわかりやすく整理した資料の中で、営業外収益の中の大きな割合を占める収益につきましても御説明してまいります。
6	誤字・誤記と思われる箇所がありましたので、確認のうえ必要に応じて修正をご検討いただきたい。 ①(該当箇所)5ページ目「(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組…」内の表②「繰入金」の説明文 (現行)「繰出基準」(提案)「繰出基準」 ②(該当箇所)6ページ目「5. 公営企業として実施する必要性など」内の表「公営企業として実施する必要性」の説明文 (現行)「代金決裁」(提案)「代金決済」	①②ともに御指摘のとおり修正いたします。

No.	意見等の概要	市の考え方等
7	<p>使用料収入の見通しが令和12年度まですべて同じ値になっていますが、それで良いのでしょうか。</p> <p>次の施設の見通しに、取扱高や操業船が減少していると言言がありますし、最近の物価上昇速度は極めて大きいことを踏まえると、この見通しは危険なように感じます。</p> <p>仮に、使用料収入の見通しが令和12年度まですべて同じ値になるとしても、それを問題視しなくて良いのでしょうか。</p> <p>施設の清掃業務、電気保守や消防設備の点検業務、廃棄物処理、除排雪と言う多岐にわたる作業に係る費用も物価高騰に合わせ、増えてくると思いますので、収益により費用を賄うことは、難しくなると思います。</p> <p>何らかの増収策を検討した方が良いと強く思います。</p> <p>漁師や卸、仲卸等の後継者不足で、今後、地方卸売市場での取引が無くなる可能性が強いように思うのですが、そのあたりの危機感は市にないのでしょうか。</p> <p>折角、魅力的な水産資源が近海で獲れるのですから、もっと、魅力的な卸売市場にする取り組みを考え、新しい漁師や卸、仲卸等が小樽の市場を利用するようになるよう、何らかの検討をした方が良いでしょう。</p> <p>今のままでは、直接、札幌の中央卸売市場や、果ては東京に流れて、何も小樽に還元されません。小樽の持続的な発展を考える上で、地方卸売市場は重要な鍵になると思います。</p>	<p>本市場は沖合底引漁業の流通拠点である産地市場の優位性から、主力であるスケトウダラ、ホッケ、カレイなど、現操業体制が継続されることで、取扱高、売上高割使用料収入ともに近年の実績と同水準を維持できるものと考えております。</p> <p>また、施設使用料についても、新たな卸売事業者や漁箱事業者、運送事業者の参入は見込まれませんが、現在貸し出している所は卸売事業者などにとって必要なスペースであり、今後も現状と同水準が確保できると見込んでおります。</p> <p>また、御指摘いただきました、施設の清掃業務、電気保守や消防設備の点検業務、廃棄物処理、除排雪等の費用につきましては、発生する金額に応じて施設利用事業者に負担を求めているところであり、収益として見込めるものでありますので、原案のとおりといたします。</p> <p>なお、もっと、魅力的な卸売市場にする取り組みを考え、新しい漁師や卸、仲卸等が小樽の市場を利用するようになるような検討の御提案につきましては、御意見を参考にしながら今後検討してまいります。</p>

* 同じ内容の意見が複数ある場合は、「意見等の概要」の最後に件数を記載してください。

* 計画等の案を修正した場合は、「市の考え方等」の欄に修正箇所を併せて記載してください。